

あいさつは心のふれあい 出会った人と あいさつしましよう

平成18年 11月第248号

毎月発行 大代地区全戸 配布

# ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎ 364-8442

多賀城市消防団

第六分団より

第六分団長 桜田 栄松

木枯らしが吹き荒れて日増しに寒さが身にしみる季節がやつてまいります。

大代地区的皆さんにお変わりなくお暮らしの事と思います。日頃消防団活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今年も十一月九日から一週間火災予防運動が展開されます。当分団においても初日、中日、最終日と広報を行い注意を呼びかけます。消防活動の主な行事として、六月の多賀城市消防演習、八月の二市三町連合演習にも当分団が参加し今年は多賀城市八幡小学校校庭で行われました。十月二十九日には多賀城市市川地区において遠距離中継送水放水訓練に参加をしました。これらの季節は空気が乾燥し火災の発生しやすい気象状態が続きます。どうか皆さんこれから日一日と寒くなり暖房器具や火の取り扱いが多くなります。枯れ草・落ち葉などのたき火・たばこの吸い殻のポイ捨てなどちょっとした不注意が大きな火災にもつながりますので十分気をつけましょう。またつけ火・放火の割合が多いという事ですので燃えやすい物は早めに片付けて道路沿いの軒下など人目に付きやすい所には努めておかないようにし必ず朝出しするように。日頃から外出時やお休み前にもう一度家庭内の火の元をチェック

する習慣をつけていただきたいもので

す。皆さん一人一人が火災の怖さをい

いします。これからも明るく安全で誰

もが住みやすい街づくりのため団員一

同努めてまいりますので皆さんのご協

力よろしくお願ひ致します。

大代中子供会育成会 櫻井 啓一郎

盆踊りを室内で!?と思う方も多いと思いますが、中区では、公民館体育室を利用して今年で七年目になるでしょうか…。すっかり地域の方にも定着してきましたようです。

一番良い所は天候に左右されない！

ということがあります。体育室には大漁旗やちようちんを飾り盆踊りの雰囲気は満点です。もちろん煮たり焼いたりには調理室や体育室の軒下を利用します。しかし屋外のような開放感や出入り口で靴を脱ぐ…という問題もあります。しかし屋外のような開放感や出

入りますが、参加者が二百名程度なら十分楽しめるスペースです。皆さんも一度見に来られてはいかかですか？

自主的に

大代東 本郷 新治

人間というものはだれでも他人から命令がましく言いつけられた仕事とい

うものは、とかく気が進まないもので

す。ところが、自分で工夫した事、自分

で思いついた事など、自分から先手

を打ってやる仕事となると楽しく熱心

になるものです。

とくに最近では、自主とか自由とい

う事がいわれて、自分から提案し

たり、計画した仕事ですと、少々苦し

む困難な仕事でも乗り気になりますが、

他人から指示された仕事となると足が重くなるようです。

このような事は、各人の気の持ち方で苦しい事も楽しくなります。大きな

組織の動きの中で、あなた方は、その位置に適している、十分に能力を發揮できると認められたからこそ、その仕事を完遂する責任とそれに関する権限

とが与えられています。いうならば、

その仕事は自分のものなのです。自分の創意工夫によつて改善する事もできます。このように考えれば、仕事にハリがでてきてやる気をおこすはずです。

人間は受け身の立場に立つてはいけません。つねに積極的に前進する気がま

えもつて仕事に取り組まねばなりません。また、あまりにも仕事が多いと、

どこから手をつけたものだろうかと、

いけば、後はスルスルといくものです。

足踏みする人がいます。自分の仕事な

のですから、やれるところからやつて

いきます。自分の仕事な

大代地区コミュニティ推進協議会主催 グラウンドゴルフ大会を開催します。  
大代地区的皆さんへの参加を募集します。  
期日／平成十八年  
十一月十九日（日）  
場所／大代緩衝緑地公園東部  
集合時間／九時  
申込場所／大代地区公民館  
申込締切／十一月十五日まで  
雨天の場合は中止となります  
大代地区公民館主催  
「グラウンドゴルフ大会」  
参加者募集のお知らせ」  
■ 日 時／11月29日（水）9時～12時、  
雨天の場合は11月30日（水）に順延。  
（11月30日が雨天の場合は、中止。）  
なお、兩日とも、天候不良時の問い合わせは、午前7時30分以降に大代地区公民館まで。  
■ 場 所／大代緩衝緑地公園  
(貞山運河側)  
■ 参加費／無料  
■ 申込期間／11月2日（木）午前9時  
～11月11日（土）まで、直接、または電話で大代地区公民館へ。  
(但し、定員になり次第締め切ります。)  
■ 受付時間／午前9時～9時30分  
■ 定 員／100名（大代・笠神地区の60歳以上方）  
■ 参加者募集のお知らせ  
大代東 本郷 新治  
（コミュニティ体育部）  
□ 364-8442

## シベリヤ慰靈

墓参りで（四十六）

果てしない大空を見あげ、その大地に立ちて往年を偲び、故郷・赤トンボを唄つた晚秋の夕景が悲しく浮かんでくる。当時の駅も集落の姿もすっかり変わり、朽ちて倒れかけた収容所・伐採された切株など当時の面影を留めているだけだ。そんな跡地に淋しく果てた多くの友に思いを新たに今では墓すらはつきりしない所も数多いのではないかと、改めて歳月の流れを痛感した。

これでは死んだ者は浮かばれない。遺族の方達は何処にお墓参りをしたらいのか、もしやロシヤの何処かに生きているのでないか不明なのではたまらない。

私の墓参りの旅も日口間の厳しい対立の元で年次を重ね今回で六度目の慰靈も済ませた。哀しみ多く辛い事計りの旅でしたが全てが忘れ難い事ばかりでした。同胞の墓を訪ね歩き続けた山河・風雨に晒された白骨に涙を拭い、拾い集めた草深い湿原に足をとられ、灌木を跨ぎ探したが発見できず僕らも同調し探したが残念ながら断念するしかなかつた。遺族は腰を落とし「お父さん何処」と悲しく叫ぶ。二人は積年の思いを今日にかけ悔しいと泣きわめく。皆で来年の挑戦を奨める。父さんはもう一度あなたを探しに参ります。

当時姉は三歳、私は一歳の時往かれました。父は家を出る時俺は必ず生きて帰る、耐えて待つてくれと、それが母と最後の会話のようでした。母はそもそもどんな体でも良いから約束を守つて欲しいと何時も念仏のように唱えていた大粒の涙を流し「泣くことなんて恥ずかしくない」と口説きはとまらない。一歳の赤ちゃんが今六十三歳のおばあちゃんになつている。「父さんわかりますか・・・」土饅頭に眠る父戸惑いなされているのです？

ソ連の人達もシベリヤ抑留の悲劇を知る人は少ない。それだけに歴史上の教訓として書き残したいと思つてゐる。墓参りの際現地の案内にいろいろお世話になつた老女達もその日焼けした顔に刻まれた皺のひとつひとつが彼女らの苦しい人生を物語つてゐた。国は違つても戦争に泣かされる女の悲しみは同じだつた。

戦後六十年も過ぎた平和な日本では戦争を知らない人達は大半を占め戦後生まれも、還暦を迎えるの大戦で亡くなられた多くの方達、今更シベリヤ抑留で亡くなつた何十万の同胞がいたといつても遠い昔の歴史であつた事柄としか思われないだろうが、七十数万の日本人が凍土に拉致され、三重苦に喘ぎ多くの友が死んでいつた事は事実で

淋しく眠り続ける友に又来たよと語  
りかける事が何時まで繰り返されるか。  

## 出会い

大代中 鈴木 則子

「人生は与ともに分つを許すは  
顧盼こけんの間に在り」

杜甫の詩句

始めて出会つた人間に、何か心惹かれて振り返る瞬間に、人生ともに分かつを許す。相手に始めて出会つたという感動がある。親交が結ばれる。友人は部分しか知るべきではない。その部分を尊敬し愛する事が出来ればそれで充分である。私にはその意味で友人がたくさんいるが、その人達の生き方は、私の趣味とはかなり違う事が多い。しかし違うが故に私には大切な友である。私自身が歳を取つて余命幾ばくもないと思うと、いつそう内容のない会話で残りの時間を過ごすのもいやになる。

どんなに抗つたつて、人間定められた運命以上のこととはできません。ただ運命に流されながらも、希望の方向性ぐらいははつきり持ち続けていて小さな悪足搔きをすることぐらいは自然でしょう。重いのほか大きく流れの方向を転換させる力になることもあるのです。努力しなくてもいいの、流されることを愛して下さい。そして流されながら最後まで小さな希望だけは明確に

いう言葉がこの頃私は大好きです。

出  
會

## 知らせ

「人生は与に分つを許すは  
こけん

消防法の改正により住宅火災警報機

顧問の間に在り

の設置が義務づけられました。当露天  
アヒトして個人でお求められるよりも安

始めて出会った人間に、何か心

価で安全で信用ある品物をと今交渉中